

ノウフクアワード 2024 表彰式



受賞コメント



◆佐賀県農福連携コーディネーター 藤戸 小百合

佐賀県の取組を評価していただき、とても嬉しいです。今後も本県の取組の特徴である丁寧なマッチング支援を行い、連携の幅を広げ地域活性化につなげていきたいと思っています。

農福連携とは



農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、地域において農業と福祉の双方が「Happy-Happy」の関係を構築する取組です。

ノウフクアワードとは

「農福連携等応援コンソーシアム」（令和2年3月設立）の主催により、全国各地で農福連携当に取組んでいる団体・企業や個人から取組事例を募集し、優れた事例を表彰するものです。

【ノウフクアワード HP より】

農林水産業と多様な人が連携することで、持続可能な共生社会をうみだす取り組みである農福連携（ノウフク）が、全国で拡大しています。

高齢化が進み、次世代を担う人づくりや荒廃農地の活用などに課題をもつ農林水産業においては、働き手の確保や産業の維持・発展につながるものとして。

障害がある人をはじめとする多様な人材においては、個性を生かした社会参画と役割、居場所づくりを後押しし、福祉の拡大や共生社会の推進を図るものとして。

そして、地域に暮らすすべての人にとって、生産者の顔が見える食材が食べられることや、食料自給率の向上、安心できる地域コミュニティの創出など、持続可能な生活と経済をつくり支える力になるものとして。

いま、ノウフクが生み出す価値に大きな期待が寄せられています。

ノウフクアワード 2024 では、これまでノウフクを実践してきた人々や様々な取り組みに光を当てて、その事例を発掘・表彰します。そして、農福連携の輪を拡大し、新たな知恵や気づきを社会に発信していくことを目指しています。



受賞のポイント

【特徴① 丁寧なマッチング支援で取組が県全域に拡大】

佐賀県では、令和4年度より、農業サイドと福祉サイドに1名ずつ農福連携コーディネーターを設置しています。

コーディネーターは農業振興センターやJA職員と連携しながら、農家と福祉事業所の間で丁寧なマッチング支援を行っています。



農福連携コーディネーターの支援内容

【農家への支援】

- 委託作業の助言
- 委託作業内容の確認
- 作業の細分化、見える化
- 工賃単価計算
- 福祉事業所の募集
- 福祉事業所との調整

【福祉事業所への支援】

- スケジュール調整
- 作業体験会の実施
- 契約書の作成支援
- トラブル発生時の対応
- 契約の説明と立ち会い
- 支払に関すること

【特徴② 県独自のマニュアル活用で質の向上】

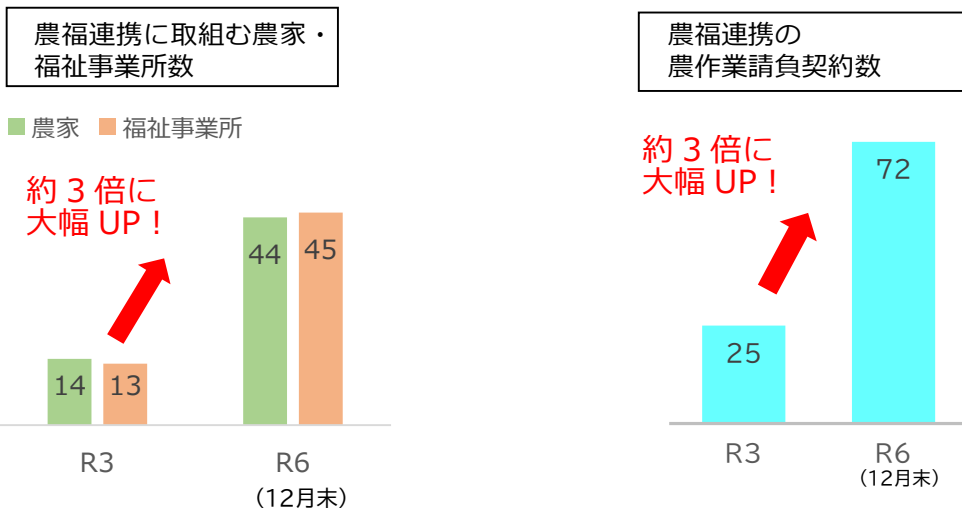
佐賀県では、農福連携による農作業受委託の独自マニュアルを作成しています。初めての取組でも失敗なくマッチングや作業支援ができ、農家と福祉事業所の間で行う支援の質の向上に繋がっています。



【取組の成果】

令和4年にコーディネーターを設置し、農業振興センターやJAと連携しながらマッチング支援を開始して以降、農福連携の取組は着々と拡大しています。

令和6年度の契約件数や取組件数は、県で取組を開始した令和3年度の約3倍にまで増加しました。



【取組事例① ピーマンの出荷調整（へた切り）作業】

【概要】

神崎市脊振町・佐賀市三瀬村において、農家が収穫したピーマンをJAの選果場に集め、「へた」を短く切る調整作業を、福祉事業所に委託。

【福祉事業所の声】

農作業を得意とする利用者が「自分の得意なことを活かせるから楽しくてたまらない」「工賃アップと外に出ることで気分転換になります」と皆さんが精神的な安定を見せています。

【JAの声】

ピーマン農家の出荷作業の負担が軽減され、収穫作業等に専念できるようになったことで、新規就農者の増加や規模拡大への見込みにつながりました。



【取組事例② 葉ニンニク定植、収穫、出荷調整作業】

【概要】

唐津市鎮西町において、葉ニンニクの苗の定植作業、収穫・出荷調整作業を福祉事業所に委託。

【福祉事業所の声】

最初は不安もあったが、回数を重ねるごとに作業が早くなり楽しく作業をすることができました。出来高制だったので達成感がありました。

【農家の声】

楽しく作業していただいたことが伝わりうれしかったし、労力的にも非常に助かった。他の品目の作業と葉ニンニクの収穫・出荷調整時期が重なり、昨年は出荷できず破棄したのもあったが、今回は福祉事業所に作業してもらい、出荷することができた。



「農福連携」を食べて知るイベントを開催します！

【ノウフランチ WEEK@サガチカ】

期間：令和7年1月27日（月曜日）～31日（金曜日）

11時30分～14時00分

場所：県庁地下1階 CAFÉ BASE

内容

- ・農福連携の野菜をたっぷり使ったベジランチ
- ・福祉事業所による野菜販売会 ※1月28日（火曜日）限定
- ・農福連携を紹介するパネル展示



【さが農福連携マルシェ】

日時：令和7年3月9日（日曜日）

10時30分～16時00分

場所：サガテレビ駐車場

- ・福祉事業所が作った野菜や果物、加工品などを販売
- ・農福連携の取組について、ミニ講座や作業体験会（ほうれんそう袋詰め作業）をあわせて実施



参考資料

佐賀県ホームページ 農福連携サイト

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00396354/index.html>

